

令和五年度「卒業式・学位記授与式」の挙行、誠におめでとうございます。
ございます。

本日、晴れて卒業される皆様に、心からお祝い申し上げますとともに、保護者の皆様、教職員の皆様に謹んでお慶びを申し上げます。みなさんの大学生活の多くの時間が、新型コロナウイルスの影響による制約があり、その後も、ロシアによるウクライナへの侵略、そして年始に発生した能登半島地震と、社会の激動の中での四年間であったと思います。そんな中で共に頑張ってこられた学友のみなさんとの絆を、これからも一生大切にしていってください。

今、我が国では、安全保障の問題はもちろんGX（グリーントランスフォーメーション）における脱炭素化（カーボンニュートラル）、人口減少・少子高齢化対策、DX（デジタルトランスフォーメーション）等、世界と協調・協働して取り組まなければならない多くの課題が山積しています。持続可能な社会、誰一人取り残されない社会の構築に向けて、今どのような手を打つのが非常に重要です。そういった現在の局面において、その突破力となる”希望の力”が、大学で英知を磨いてきたみなさま方です。

「未来をつくるは、青年の熱と力!」「英知を磨くは何のため!」
これからも、大学時代に培った”やり抜く力”を発揮して、他者への理解、思いやりを大切に学び続けていってください。

一生をかけて、自分だけの”宝”を磨き抜き、その素晴らしい力を、自分のため、社会のために光らせきってくださいることを願い、お祝いのメッセージと致します。本日は誠におめでとうございました。

令和六年三月十九日



公明党 衆議院議員

山崎 やまざき

正恭 まさたか

